

社協 くちみなみ

第50号

編集発行

久地南地区社会福祉協議会

TEL 837-3737

安佐北区安佐町くすの木台52-2

印刷/安佐印刷有限会社

新年のご挨拶

久地南地区社会福祉協議会

会長 折田 康人

皆様には令和7年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は「久地南地区社会福祉協議会」に対し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、4月に地区社協活動拠点活性化支援事業に取り組みました。皆さんの心配ごとや困りごと等の相談窓口を、久地南集会所で開設しています。開設曜日は、毎週月・木・日（第1・第3）です。皆さんのお越しをお待ちしています。

また、7月に広島LMOの認定を受け、LMOの事業として11月に久地南小学校と地域が一緒になって、元ル・クプルの歌手藤田恵美さんをお招きし「OMOIYARI音楽会」を開催しました。

地域の人も子どもたちと一緒に手話と歌で「OMOIYARI」について考え、みんなで考える素晴らしい「OMOIYARI音楽会」となりました。特に幼稚園児と小学生の手話と歌には感動しました。

時を同じくして、広島市社会福祉大会で、ドキュメンタリー監督信友直子さんの「おたがいさまの心がつくる あったかい地域のつながり」と題しての講演を聞く機会がありました。

いつ自分が人のお世話になるかもわからない。お互いに甘えられる人には甘え、逆に甘えられた時には助けてあげるというつながりが大事だと、熱く話されました。

私たちの久地南地区におきましても、団塊の世代が後期高齢者となり、高齢者（65歳以上）の人口が過半数を超え、ますます「思いやりみんなで助け合うつながり」が大切になってきています。「OMOIYARI みんなで助け合う 久地南」になることを願って、本年も社会福祉活動を推進していく所存です。

本年も「久地南地区社会福祉協議会」の活動に対し、ご理解とご協力をお願いします。

最後になりますが、久地南地区の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

♪OMOIYARIは
世界を幸せにする
魔法～♪



OMOIYARI音楽会を振り返って



昨年11月16日、久地南小学校で、藤田恵美さんを招き、「OMOIYARI音楽会」を開催しました。当日は体育館が満員になるほどの大盛況でした。

そこで、久地南小学校の久保田校長先生にここまでのいきさつや、これからの展望を語っていただきました。

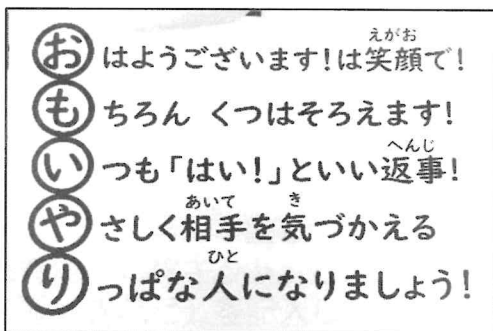
—まずは、この音楽会が生まれたきっかけを教えてください。

私は2023年の4月にこちらの小学校に来ました。小学校の正門に立ってみると「あいさつで笑顔の花咲く久地南」という看板があるんですよ。

で、朝、校門に立っていると、子どもたちのあいさつがいまひとつ遠慮がちで、「できない」というんじゃないんですけど。それで「せっかくこんな看板があるんだから、もう少し元気よくあいさつできたらいいなあ」と思ったのが一番のきっかけです。

—それがどう「思いやり」につながっていったんですか？

「あいさつしなさい！」じゃなくて、どういふうに促そうかな—と考えると、始業式にこれを見せたんですよ。これがきっかけです。



—ひとつひとつも、縦読みの「思いやり」も両方意識できるカードですね。

去年一年間は、これを校長室の廊下にも貼って、朝会でも言って、言葉を穴あきにしたカードも貼りました。

—子どもたちってそういうの、好きですよ。

周りから「よくあいさつするようになりましたね」という言葉も聞くようになりました。

—あいさつから始まって「思いやり」が先生のキーワードになっていったんですね。

そうです。「思いやりって、気持ちだけじゃなくて、目に見える形にすることが大事だね」ということも言い続けて来て、「来年度はどういう活動にしようかな」とネットで「思いやり」で検索していたら、偶然藤田恵美さんのブログに行きついたんですよ。

実は10年くらい前にメキシコで日本のテレビ番組を見た時に、藤田恵美さんのこの活動が取り上げられていて。

—え？メキシコで日本のテレビ番組を見た？

メキシコの日本人学校で派遣教員として3年間働いていた時のことです。それで、「まだ続けておられるんだなあ」と、ブログに「うちの小学校でもOMOIYARI音楽会ができれば素晴らしいと思います」とダメもとで打ってみたら、すぐにマネージャーさんから「お手伝いできるなら、ぜひ行きます」と返信があったんです。

—「思いやり」がアルファベットになっているのは「MOTTAINAI」のように、日本の美しい精神を世界にも発信したいという藤田さんの思いからですよ。

どうせなら、ただ音楽会を開くだけじゃなくて、それまでに「思いやり」について取り組んでから、藤田さんが来てくれたらいいなあ。藤田さんは「イジメをなくそう(マイナスイメージ)から、OMOIYARIの心を育む(プラスイメージ)でイジメ撲滅!」という考えを持っておられて、それも自分の考えと一致するところでした。

—それを地域の人たちと一緒にやろうと考えられたのはなぜですか？

地域と学校が連携するコミュニティスクールという考え方を広島市が推進していて。



学校運営協議会の折田委員長さんが、ちょうど「過疎化を防いでこの久地南地域が盛り上がるものはないか」と考えられて、LMOに立候補しようとしていた頃で、タイミングがバッチリ合ったんですよ。

—LMOがバックアップしたら、いろいろな面で実現の芽がありそうですもんね。

それで、話を進めるうちに「幼稚園も一緒にやろう！」ということになって、安佐幼稚園の園長さんや職員さんとも思いを共有して。

—園児さんたち、歌も手話もよく覚えていましたが、小学校の方の取組も大変だったんじゃないですか？

あいさつが「ちゃんとしなさい！」じゃないように、手話も「覚えなさい！」じゃないですよ。そこで、玄関入ったところの大型テレビに一日中手話と歌を流して、段々子どもたちにも定着してきました。それと並行して「OMOIYARI宣言」という取組を進めたんですよ。

—ああ、みんながステージで掲げていた宣言ですね。

そうそう。まず6月に「あなたにとってOMOIYARIとは？」を書く時間をとり、児童の計画委員会が集計しました。それを踏まえて、児童一人一人が「宣言」を書いて、タブレットに入れて、全校で見られるようにしました。できることでいいんですよ。決まらなかったら他の人の宣言で「これならできる」というのがあったら、それでいいし、決まらなかったら無理に宣言しなくてもいい。自分なりの宣言だから。でも宣言として「言葉にする」というところに意味があるんです。

12月にはもう一度同じように「あなたにとってOMOIYARIとは？」を書いてもらって、深まったことが自分なりにわかったらいいなと思っています。そして今後につなげたい。それをやっている途中なんです。

—つまり、今後もずっと継続していくということですね。

そう。音楽会が終わったら終わり、じゃなくて。一応これで「器」ができたので、もっと先生方や地域の方の意見も取り入れて発展させたいですね。そして、この地域の中で、この歌を残していったらいいと思うんです。手話つきで。次やるときは、地域の大人も歌と手話をやるとか、バージョンアップできるんじゃないかな。

—あの後、NHKのラジオでこの音楽会のことが取り上げられたし、藤田さんのブログでもかなり詳しく紹介してありましたよね。

あのラジオにたぶん保護者からの投稿があつて、嬉しいことを書いてくださっていました。

—そういえば、アンコールで藤田さんに、もちろん花束も渡すんですけど、物じゃない何かも…と考えたら、我々も「ひだまりの詩」を手話付きで覚えて歌ったら喜んでもらえるんじゃないかと思ったんですよ。

結局は、音楽会前に授業がなく、リハーサルが可能な私のギターと、音楽の先生のピアノで伴奏。児童はサイリウムライト、大人はスマホの照明を揺らして…という形になりました。でも藤田さんから「今年一番のいい思い出になりました」と言ってもらえてよかったです。

—「あいさつ」の話から始まって、「思いやり」を形にする取組が始まり、つながっていくということですね。

はい。トイレのスリッパも段々そろそろようになってきました。これまた「次の人どうぞ」という思いやりですからね。このたびの取組のキーワード「その思いをカタチに！」を継続し、人のことを考えられる人間になるための経験を積んでいければと思います。

さらに、その思いをみんなで共有できれば素敵なことだと思います。

—今日は貴重なお話をありがとうございました。

すぐそこに迫るくらしの課題

～地域包括支援センター「久地南地区くらしのアンケート」から～

久地南地区では、高齢化が急速に進展しており、65歳以上の高齢者の率が50%を超えています。久地南社会福祉協議会では、地域団体と協力して「住みやすいまちづくり」を目指していますが、そのためには生活の現状を把握し、まちづくりに活かす必要があります。

このことから、今回は試験的に小野原上自治会で「くらしのアンケート」を実施しました。

Q1:あなたは久地南地区に住み続けたいですか？

- ◎住み続けたい・どちらかといえば住み続けたい…80%
- ◎住み続けたくない・どちらかといえば住み続けたくない…15%
- ◎未回答…5%



☆住み続けたい理由

- 第1位:家や土地があるから
- 第2位:自然が豊かだから
- 第3位:自分が育った町だから

Q2:今後も久地南で生活していくために、このサービスがあれば生活しやすくなると思うものがあれば、教えてください

- 第1位:生活支援(買物代行、簡易な家事、ゴミ出し)
- 第2位:草取りや草刈りの支援
- 第3位:移動支援(通院、金融機関への用事、乗り合いタクシーなど)



うちはまだ車に乗っているから「移動」の問題についてあまり真剣に考えていなかったけど、年齢から考えて、免許返納もそう遠い話じゃないとすると、買い物、通院、銀行…どうすればいいのかな？

私は元気そうに見えるかもしれんけど、本当はもう、家事をするのもやねこいんよ。子どもたちは遠くに住んどるし、もし私が動けんようになったら、この家はどうなるんかね？



今回のアンケートは小野原上自治会域でのアンケートと限定的なものですが、今後も久地南地区で生活を続けていくためには、草刈り・草取りをはじめ、生活支援の必要性がわかりました。

また、免許返納後の生活には、移動問題は必須の課題になります。住民が安心して暮らすことのできる久地南地区にするためには、まず住民どうしの助け合い・思いやりがなくてはなりません。

久地南LMO、久地南連合自治会、久地南社会福祉協議会、関係団体と地域包括支援センターが協力し、地域のネットワークづくり、安心して暮らせるための手立てについて考え、活動していきたいと考えています。

民生委員さんから

社協の役員会では「民生委員さんからの気づきを地域みなさんに伝える機会が、なかなかないよね」という話がよく出てきます。それで、「くちみなみ」に「民生委員さんから」のページを設けることにしました。逆に「聞いてみたい」「相談したい」ということがあれば、拠点スタッフ当番の日に久地南集会所に足をはこんでみてくださいね。お待ちしております。



詐欺に気をつけて！

- ・「なんでも買います！」の電話が危ないです。本当に処分したいものがあれば、まず家族に相談しましょう。
- ・「不用品回収」と称して家に上がり込み、最後は高額商品を売りつける詐欺があります。
- ・「トイレを貸して」と家に上がり込む事例があります。知らない人は絶対に家に入れないで。

警報が出た時には

- ・土砂崩れや大雨などの警報が出たら、家族、自治会の班長、民生委員に連絡をください。一緒に最善策を考えたいと思います。それぞれの連絡先電話番号を大きく書いて、よく見えるところに貼っておくとよいと思います。

見守り活動について

・最近、認知症の方が団地外で発見されるということが時々あります。もし家族の人が、その人は認知症であるということを周りの人に声かけされていたら、「あら？様子がおかしいかも」と気づいて、団地内でももう少し早く発見できたのに…ということもありました。

各役員ががんばって見守りをして、団地外に出られたら探すことは難しくなってきます。できるだけ家族の人からの情報がほしいと思います。

しばらく留守にする時には

- ・信頼できる誰かに「しばらく留守にする」ということや、いざという時の連絡方法を伝えておいてください。安否確認が必要な時があります。

困っています

- ・この地区でも高齢の方が増え、民生委員の負担が増えています。
- ・「人に迷惑をかけてはいけない」と、自分一人で頑張りすぎる人がおられる一方、「いろいろしてくれて当然」という考えのような人も…。どちらの場合も困ります。そのような実態があると、次の民生委員の担い手がいなくなってしまうと思います。



あー！今回聞いた内容は、たった1ページでは書ききれないです！交流の大切さ、不登校について、利用できるさまざまな制度などなど。特に、民生委員・児童委員さんが「どうしたら良いんだろう？」と思われるような事例については、考えて行く必要があります。この続きはまた夏号でとりあげますね。

赤い羽根共同募金のご協力に感謝します

赤い羽根共同募金につきましては、例年格別のご理解とご協力を賜りありがとうございます。おかげさまで令和6年度も目標を達成できました。

これもひとえに各自治会長様をはじめ、法人・個人と多くの方々のご支援のおかげと厚くお礼申し上げます。

共同募金は障がい者施設・社会福祉施設の活動支援や、当地区社会福祉協議会の福祉活動（見守り配食活動・サロン助成・広報誌発行など）の原資になっています。さらに近年では災害時の備えとしても使われています。



◎令和6年度の募金実績は次の通りです。

◎個人情報保護等の観点から、今年度より個人の募金についてはお名前の掲載を控えます。ご協力ありがとうございました。

◎戸別募金（敬称略、単位、円） 483,400 円

久地境原自治会	20,000	幸の神自治会	5,200	小野原上自治会	8,000
魚切自治会	14,800	南が丘団地自治会	100,000	瀬戸内ニューハイム自治会	125,000
くすの木台自治会	210,400				

◎法人・個人募金（順不同、敬称略） 104,720 円

(株)ミカワ	(有)ティー設備	(有)笹野石材工業所	田島運送(有)久地営業所	(株)アイスリー製作所
(株)ミスト	倉橋美容室	広島シンター(株)	三ツ平工業(株)	久地歯科医院
(有)アサ産業	向田オート	(有)宮長運送	(株)不二土木工業	日野原エンジニアリング
日本ホームガス協業組合	久地南地区民生委員・児童委員	久地南地区社協募金箱		

◎久地南地区募金計 588,120 円（12月31日現在）

久地南社協事務所からのお知らせ

救急車を呼んで隊員さんが来たけど苦しくてうまく説明できない！

～家の冷蔵庫に救急医療情報キットを備えませんか？～

「救急医療情報キット」とは、自分についての情報（氏名、年齢、持病、かかりつけ医、緊急連絡先など）を記入した用紙を円筒容器の中に入れ、冷蔵庫（救急隊が絶対に見つけられる場所だから！）に保管しておき緊急時に救急隊などに分かりやすくしておくための物です。

ご希望の方や説明が必要な方は、福祉委員、民生委員、社協事務所にご連絡ください。1組200円です。



車椅子を貸してほしい！

久地南集会所では、車いすの貸し出しをしています。拠点スタッフが毎週月曜日と木曜日、第1・3日曜日の10時～12時まで集会所にいます。、借りたい日時などを相談してください。電話での問い合わせは上記の時間帯に(837-3737)まで。

